

平成 27 年度地域で決める学校予算事業第 2 回推進懇話会 意見概要

開催日時	平成 27 年 12 月 3 日（木）午前 10 時 00 分から 11 時 30 分まで
開催場所	市役所北棟 2 階 16 会議室
意見等を求める内容等	平成 27 年度の事業を踏まえた「平成 28 年度地域で決める学校予算事業プレゼンテーションと意見交換」そのあり方や助言・指導方法などについて
出席者	加藤座長、瀬戸氏、石川氏 亀井学校教育課長、錦教育政策課長 鈴木地域教育課長・事務局 6 名
開催形態	公開（傍聴人 なし）
担当課	学校教育部地域教育課 地域学校連携係

意見等の内容の取り纏め

- ① 「平成 28 年度プレゼンテーションと意見交換」について事務局の説明後、意見聴取。
- ② 「文部科学大臣表彰受賞協議会並びに第 5 回交流の集い」について事務局が報告。

＜概要説明＞

1 「平成 28 年度地域で決める学校予算事業のプレゼンテーション及び意見交換」について

■ 目的

- ・ 各協議会の抱える悩みや課題解決に向けた助言を行う。
- ・ 地域人材のモチベーションアップを図る。
- ・ 小中一貫教育を視野に入れた地域連携を図る。
- ・ 地域の取組を自己評価する仕組みや組織づくりを進める。

■ プレゼンテーションと意見交換のポイント

- 1 名称を「プレゼンテーションと意見交換」へ
- 2 日程・時間の変更
- 3 発表方法は交流の集いで使用したものを活用してよい
- 4 参加者は必要な人数で充分
- 5 現在抱えている悩みや課題などを意見交換する
- 6 自己評価してから意見交換する
- 7 交流の集いに懇話会参加者が参加する

2 その他

- ・平成 27 年度文部科学省大臣表彰受賞決定の報告

〔富雄第三中学校区地域教育協議会に決定〕

表彰日：平成 27 年 12 月 3 日 14:10～

出席者：会長・顧問・総合コーディネーター・中尾教頭・深澤補佐)

- ・「第 5 回交流の集い」内容(案)の説明(資料 7「第 5 回交流の集い開催要項」参照)
- ・「平成 28 年度プレゼンテーション及び意見交換」の日程・タイムスケジュールなどの検討

2 月 16 日～2 月 29 日で 2 日間を検討する。

(午前か午後の半日ずつ、2 日間で実施。各代表の希望候補日から事務局で会場を予約し、直ちに各参加者へ連絡する予定)

《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》

以下の意見は前述の「事業評価における提案のポイント」を基に話し合われた。

- 1 「平成 28 年度プレゼンテーションと意見交換」における評価基準・助言・指導方法について

■「チェックシート※」について

※「プレゼンテーションと意見交換」に向けて、各協議会で自己評価のために記入依頼するもの

・プレゼンテーションについての地域の意見「毎年やり方が変わるので負担」という意見について、代表から、「経年変化を追うためできるだけ変えないようにしてきたはずだが、何が負担なのか」との意見があった。

事務局の答として「大枠の変化はないが、若干計画書の項目を変えたこと、自己評価のチェックシートを設けたのは変化である」を挙げた。

①チェックシート活用における課題

- ・特定人材の意見(個人の主観)で記入されてしまうこと。
- ・今後必要なのは、チェックシートによるフィードバックではなく、フィードフォワードである。全国的にも評価過多で、評価を負担と感じるケースも多い。
- ・チェックシートの活用目的や検証があいまいなので、明確にする必要がある。(現在の目的としては評価者側の参考資料として活用している)
- ・チェックシートとは別に「プレゼンテーション時に必要な観点・話すべきこと」を書面で各協議会に伝えてはどうか。そうすればフィードバックとフィードフォワードが同時にできる。(助言項目例：目指す子ども像を述べているか・事業推進のための役割分担はできているか・学校のニーズを把握できているか)
- ・配布時にこのシートの趣旨を伝える工夫が必要。通知文を作成する場合は、本会議のご意見をいただく。

■プレゼンテーションの発表方法について

- ・「交流の集いの資料・掲示物を使用する」のではなく、「プレゼンテーションで事業評価し、

交流の集いで利用する」を観点として持ってほしいので、文言を変えてはどうか。(今年度はプレゼンテーションと交流の集いの日程が去年と逆で、プレゼンテーションが後に開催される)

■プレゼンテーションのあり方について

・プレゼンテーションを毎年継続し、各協議会活動に成果をもたらしている。事業を委託される以上、書類や報告をするのは、社会的にも当然のルールである。しかし管理監督される、フィードバック・評価ばかりされていると感じさせてはいけない。今後に生かす・フィードフォワードが大切である。

■プレゼンテーションの参加人数について

・「プレゼンテーションの参加人数は各協議会の判断に任せる」と修正記述してほしい。

《意見を求めた内容に対する地域で決める学校予算事業推進懇話会代表よりの要望》

- ・プレゼンテーション・チェックシートなどに負担感を感じる理由を検証してほしい。
- ・チェックシートとは別に「プレゼンテーションに必要な観点」を書面で各協議会に発信してほしい。
- ・チェックシートの最終項目に「⑯本事業に対する要望・希望」欄を追記してほしい。
- ・チェックシートの主旨を各協議会には明確に伝え、記入できるようにしてほしい。
- ・プレゼンテーション実施前に、懇話会参加者へ知るべき重要な情報をまとめ、伝えてほしい。(例；：今年度統合した校園や地域の変化・様子など)

《次回以降の会議について》

1. 第3回推進懇話会：「第5回交流の集い」視察 2月13日(土)
2. 第4回推進懇話会：「プレゼンテーションと意見交換」

開始候補日 2月18日、22日、26日、29日(決定次第連絡)